



二の丸で開かれた主事会



敵も苦戦したであろう十三曲がり



途中でパンクのハプニングも



資料片手に丁寧に説明

賀田城
瀬戸山城に籠る赤穴氏に毛利氏が降伏を迫った時、徹底抗戦を唱えた赤穴氏配下の森田氏と烏田氏が籠った「松本山の石城」とされています。

八福神
8つの神様は、今でこそ8つの神社に祀られています。もとは八神にある志々乃村神社に合祀されていました。

放送月	内容
7月	賀田城(来島)
8月	竹筒でアウトドア炊飯(頓原)
9月	瀬戸山城(赤名)
10月	家庭の味まつり(志々)
11月	神楽・門松(谷)

※毎月第4週の土・日

こんな公民館主事たちが、このまちの公民館にいます。公民館に行く目的は無くとも大丈夫。何かやりたいけどどうして良いかわからない人が「とりあえず公民館に行ってみるか」と思えるように。ここは集って、学んで、つながる場。



お寺で焼香の作法を学びました

賀田城を攻める
体を動かすことが好きな5人が最初に企画したが、下来島にある松本山に築かれた賀田城を巡る「賀田城ツアー」。5人は城にまつわる歴史や城の仕掛けを学びながら本丸を目指しました。「来島地域の資源を知ってもらえて良かった」と来島公民館主事の加藤さん。加藤さんは、当日ガイドをするために、歴史好きな人から賀田城のことを教えてもらい、自分なりに勉強したそう。最後に「自分も成長できました」と話していました。

八福神を駆け巡る
2日後、「今まで神様の存在は知っていたけど、場所やそれにまつわる歴史までは知りませんでした。一緒に学ぶことで、今まで知らなかったことや地域のことをさらに学べて良かったです」と志々公民館主事の岩見さん。この日、5人は志々地域に祀られる8つの神様「八福神」を自転車で行く「八福神サイクリング」を企画。全長約16kmのコースの途中途中で、8つの神様と共に歩んだ地域の歴史を学びながら走りました。

まちの宝を伝えたい
人は学ぶと、誰かに伝えたいくなるもの。そこで、5館の主事と館長、飯南放送センターがテレビ番組「飯南町里山ミニ講座」の制作に乗り出しました。この番組は、主事が案内人となり、飯南町の里山文化・歴史・伝統を紹介する企画で、7月からケーブルテレビで放送予定です。



赤名公民館主事の景山さん

公民館の役割

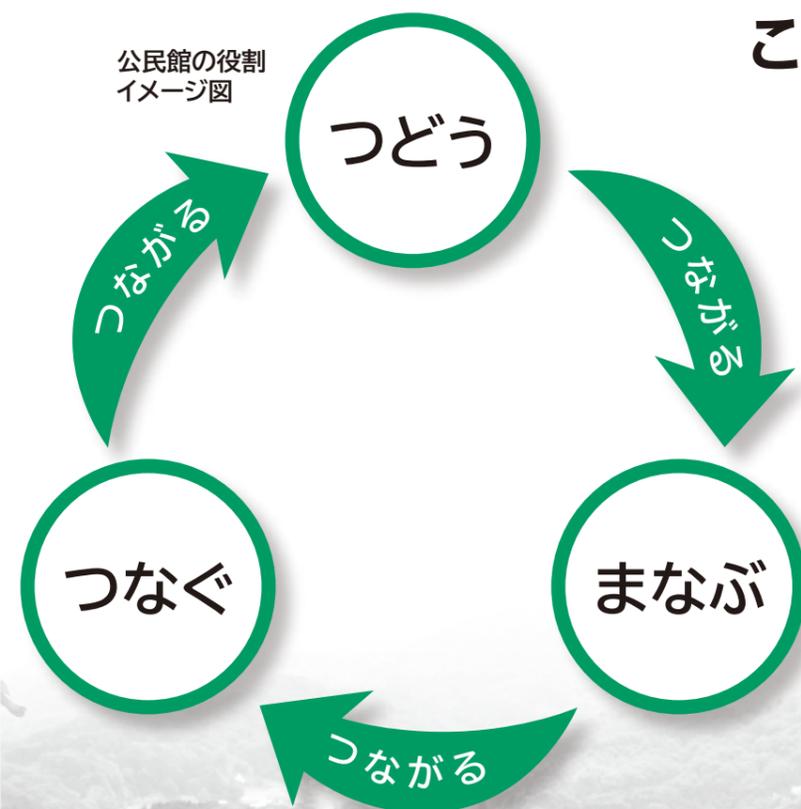
「僕たちは主事同士で集って、地域資源を学んで、番組では案内人。今度は番組を観た人と何らかのつながりができるかもしれない。このつながりが地域を豊かにしていくんじゃないかな。誰が誰に教えても良い、誰でも主役になれるのが社会教育の良いところ」と赤名公民館主事の景山さん。「だから僕たち、そして公民館の役割は、つながりの輪を広げるきっかけづくり。そのために来てくれた人に寄り添って話を聞いたり、つないだりするんです」と続けました。

広がるつながりの輪
町内でもこんなつながりが生まれています。その名も「ミート会」。きっかけは公民館と教育委員会が共同で開催した「新社会人研修」です。職種を超えて多くの若者が集まる研修の場。何度も集まっているうちに、「大人になったら恥ずかしくて人に聞けないマナーや作法を、若いうちに知りたい」という想いを実現できる場を、「自分たちの手で創れないか」という想いが芽生えます。これが「ミート会」の始まりです。今では「来島公民館文化祭を手伝ってもらえないか」と地域行事にお呼びがかかるなど、つながりの輪が自然と大きくなっています。

つながりが生まれる公民館へ

Hominkan

ここは集って、学んで、つながる場。



公民館の役割イメージ図

立ち上がる公民館主事
令和2年度の公民館活動の準備を進めていた矢先、新型コロナウイルスが猛威をふるいました。3密を避けるため相次いで活動が中止に。いつもなら大忙しのはずなのに……。そこで、5人の公民館主事が立ち上がります。「こんな時だからこそ、これまでなかなか目を向けられなかった主事同士のつながりや地域資源を見つめ直したい」と、自分たちで研修を企画しました。

